

事務事業名	生涯学習推進事業		所属部局	教育委員会	単位番号	12379
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	生涯学習課	課長名	新津 岳
			所属担当	生涯学習担当	担当者名	小野晃利
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計 名称 款 項 目 細目 細々目	01 一般 1 0 0 4 0 3 0 2 0 0 1	
政策	22	生涯学習ネットワークの整備充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金		
施策	35	生涯学習システムの推進				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠	生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律		
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 生涯学習を推進するために親子料理教室やパソコン教室、折り紙教室などの生涯学習講座を開催する事業 生涯学習事業を推進するための社会教育委員、社会教育指導員の報酬の支払い。 講演会や生涯学習講座等開催にあたり事業内容を社会教育委員に年2回諮問している。			事業費の主な内訳 (22年度) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円)		
				委員報酬	150	その他保険料
			講師謝金	445	委託料	699
			消耗品	105	使用料・賃借料	724
			食料費	6	備品購入費	315
			手数料	55	計	2,500

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	22年度活動実績 生涯学習講座の開催 社会教育委員の会議 23年度活動予定 生涯学習講座の開催 社会教育委員の会議
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 委員
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	アンケートにより要望のある講座・講演会等を社会教育委員に諮り、ニーズにあった事業を開催する。ニーズが高い教室・講座を積極的に開催し、市民の学習機会の充実を図り、自主的な学習活動を支援する。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	芸術文化及び生活文化のさらなる向上が図られ、地域再見・文化のまちづくり・地域文化の振興が図られる。

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 講座の開催 回数 イ 会議 回数 ウ
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 人口 人数 イ 事業数 数 ウ
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 参加者数 人数 イ ウ
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 講座に参加したことにより満足と感じる市民の割合 % イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業内訳	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	最終
			(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円	281	233	280	280	200	200	
	一般財源	千円	4,143	2,267	2,561	2,241	2,204	2,204	
	事業費計(A)	千円	4,424	2,500	2,841	2,521	2,404	2,404	0
人件費	正規職員従事人数	人	4	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	2,000	950	900	850	850	850	
	人件費計(B)	千円	8,922	4,238	3,566	3,368	3,368	3,368	0
	(A)+(B)	千円	13,346	6,738	6,407	5,889	5,772	5,772	0
活動指標	回数		44.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	
対象指標	人数		73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	73,000.0	
成果指標	人数		2,455.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	
上位成果指標	%		85.0	90.0	90.0	95.0	95.0	95.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	集団活動から個人の活動へと移行していく中で、個人を対象に生涯に亘って学習機会の参加ができるよう平成2年に法が制定された。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	余暇を有意義に過ごすため、市民の生涯学習に対するニーズは高まっている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	市民から趣味的講座の開催要望が高い

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	趣味的講座で継続して活動をしていきたい市民に対して、きっかけ作りをした後、市民自ら活動できるクラブ・サークル等に加入することを促す。市が中心として実施していくのは、趣味的講座から教養的な講座開催への比重を移していくこと
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	指定管理者等も含め他所管主催の講座を把握し、同様な講座開催がされる場合は事業実施を見送る

事務事業名	生涯学習推進事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市民が余暇を利用し、生涯をとおして学ぶことができる機会を設けている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 各種講座を開催することで多くの市民に趣味や教養など自分にあった講座の選択ができ、これをきっかけに生涯にわたって継続して学習することができる。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 対象を広く市民としている。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 周知方法の検討
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 公民館管理運営事業との整合性、連携等を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 生涯学習を学ぶきっかけが減少する。特に高齢者には余暇を利用して学ぶ機会が減る。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 市民からの要望が多いため、現状では難しい。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 桃源文化振興協会やその他指定管理者への事業の移管
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 広報誌により広く市民に周知し、事業開催をしている。定員がオーバーした場合、公平に抽選により受講者を決定する。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公民館活動との重複する部分がある。ただし公民館事業の方が後発のため端緒についていたところであり、この時点で事業統合を推し進めると公民館事業が成り立たなくなってしまう。周知方法については広報・HP等を活用しているがCATV等新たな方法を検討する。 H22年度は指定管理者と連携し自主事業と生涯学習講座を行う等、新たな運用状況も実施していく予定である。その結果、自主事業での講座活用が活発になればH23年度からの予算削減も可能となる。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
① 周知方法の改革(受身ではなく能動的に・・・CATV等の活用) ② 指定管理事業者との連携 ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① 初心者レベルでのリピーターは他受講者の妨げになる ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑪</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	②	コスト削減優先度評価結果	⑪																	
成果優先度評価結果	②																					
コスト削減優先度評価結果	⑪																					